

健やか山梨21

急速な少子高齢化の進行、病気全体に占めるがん、心疾患等の生活習慣病の増加や、これに伴う要介護者の増加などの社会問題を背景に、近年の予防医学の成果を積極的に活用した県民の健康づくり運動の推進のため、平成13年度に策定。

計画期間は、平成13年度から平成22年度までの10年間で、平成17年度に中間評価及び内容の見直しを行った。

生活習慣病

心臓病・高血圧・糖尿病・がん・高脂血症など、不適切な食事、運動不足、喫煙、飲酒などの生活習慣に起因すると考えられる病気。

従来は成人病と呼ばれてきたが、平成8年にこの名称が導入された。

全国食品安全自治ネットワーク

食品安全行政に、より効果的、より効率的に取り組むため、全国の地方自治体による知恵と情報の連携が必要であることから、群馬県・岐阜県・佐賀県が提唱県となり、平成14年に発足した。

地産地消（ちさんちしょう）

地域の消費者ニーズに即した農業生産と、生産された農産物を地域で消費しようとする活動を通じて、農業者と消費者を結びつける取組。

特に、山梨県では県民だけでなく、県外から訪れる観光客などにも県産農産物を消費してもらい「やまなし型地産地消」を推進し、平成15年度より毎月第三金・土・日曜日を「県産食材の日」とするなど、地産地消を県民運動として展開している。

地産地消サポーター

地産地消を広く県民運動として進めていくため、山梨県が創設した地産地消サポーター制度に基づき登録された者のこと。

サポーターは、生産者・流通業者・消費者がそれぞれの立場で、相互交流や連携活動など、地産地消に関する自主的な取組を行っている。

調理師会

調理師資格を有する者の職能団体。調理師の資質の向上及び合理的な調理技術の発展を図り、県民の食生活の向上及び福祉の増進並びに観光開発に寄与している。

特選農産物認証委員会

「山梨県特選農産物認証制度」を推進するため、同制度実施要綱に基づき設置されている委員会で、特選農産物の品目・種類・品種の決定や出荷基準の設定、出荷団体の認証などの審議をする。

特選農産物認証制度とは、県が農産物のブランド化を進めるために創設し、外觀や糖度、化学合成農薬・化学肥料の低減に取り組む「エコファーマー」により生産されていることなど、一定の基準をクリアした農産物を、「特選農産物認証委員会」により認証された出荷団体が特選農産物として出荷する制度。

特定給食施設

健康増進法に基づき、特定かつ多数の者に対して継続的に食事を提供する施設のうち、継続的に1回100食以上又は1日250食以上の食事を供給する施設。

特用作物

主に、食用以外の特別の用途にあてるため栽培・加工する農産物のこと。綿、桑、茶、タバコ、麻、藍など。

特用林産物

林産物のうち、建築やパルプなどに使われる一般用材を除く品目の総称。食用のものとしては、しいたけ、わさび、山菜など。

日本型食生活

米、魚、野菜、大豆を中心とした伝統的な食生活のパターンに、肉類、牛乳・乳製品、油脂、果物などが豊富に加わって、多様性があり、栄養バランスがとれた健康的で豊かな食生活のこと。その内容は、欧米に比べて「熱量水準が体位・体格から見てほぼ満足すべき水準に達しており、たんぱく質、脂質、炭水化物の組み合わせバランスがとれていること、食品の種類に多様性があり、たんぱく質の中では、植物性たんぱく質が多く、水産物の割合が高い」という特徴がある。

農業産出額

年内に生産された各農産物の生産量（自家消費分を含む）から、種子・飼料等の中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の庭先販売価格を乗じて算出したもの。農業生産の実態を価値量的な面から把握するため、農林水産省が毎年公表している。

「早寝早起き朝ごはん」国民運動

家庭における食事や睡眠などの乱れは、個々の家庭や子どもの問題として見過ごすことなく、社会全体の問題として、地域による一丸となった取り組みが重要な課題となっているため、平成18年4月24日、百を超える個人や団体（PTA、子ども会、青少年団体、スポーツ団体、文化関係団体、読書・食育推進団体、経済界等）など、幅広い関係者の参加により設立された、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会による運動。

ブドウ糖

ブドウ糖（グルコース）とは、脳やからだを動かすエネルギー源となるもの。ブドウ糖は、脳のエネルギー源の唯一なもので、不足すると脳の活力が低下してしまう。

食物の糖質が消化されてできるもので、腸で吸収されて血液中に入り、血液の流れに乗ってからだの細胞に運ばれて、筋肉や臓器で使われる。

メタボリック・シンドローム（内臓脂肪型症候群）

内臓脂肪型肥満の人が、「糖尿病」「高血圧」「高脂血症」といった生活習慣病になる危険因子を併せ持っている状態のこと。これらの危険因子は、それぞれ一つだけでも動脈硬化を進行させるが、併せ持つことで飛躍的に進行させるため、近年その予防が重要視されている。

内臓脂肪蓄積を伴い、その目安として、ウエスト周囲径が男性で85cm、女性で90cm以上を「要注意」とし、その中で

- ① 血清脂質異常（トリグリセリド値150mg/dl以上、またはHDLコレステロール値40mg/dl未満）
- ② 血圧高値（最高血圧130mmHg以上、または最低血圧85mmHg以上）
- ③ 耐糖能異常（空腹時血糖値110mg/dl以上）

の3項目のうち2つ以上を有する場合をメタボリック・シンドロームという。

山梨県食の安全・食育推進本部

山梨県における、生産から流通、消費にいたる総合的な食品の安全・安心施策を推進するとともに、食育を総合的・計画的に推進していくためには、全庁的・横断的な体制で取り組むことが必要であることから、知事を本部長とし、平成18年5月17日に設置した。

落葉果樹

秋から冬にかけての休眠期間に完全に落葉する果樹を落葉果樹という。一部落葉するものの年間を通して葉を樹上に残している果樹である常緑果樹と区分する。

落葉果樹には、ぶどう、もも、すもも等が属し、常緑果樹には、みかん等の柑橘類やバナナ等の熱帯果樹類が属する。

リスクコミュニケーション

消費者の健康保護を最優先に、食品を摂取することによって健康に悪影響が発生することを予防したり、抑えるために行われる食品安全対策のあらゆる過程において、消費者をはじめすべての関係者の間で情報や意見を相互に交換すること。